

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,596	△2.2	661	△12.0	665	△13.6	388	△12.0
24年3月期第3四半期	3,677	3.2	751	6.1	770	5.2	441	11.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 392百万円 (△10.7%) 24年3月期第3四半期 439百万円 (12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	86.59	—
24年3月期第3四半期	98.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,466	5,572	86.2
24年3月期	6,319	5,359	84.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,572百万円 24年3月期 5,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,136	3.7	1,107	6.8	1,113	5.1	656	5.8	146.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,536,000 株	24年3月期	4,536,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	50,605 株	24年3月期	50,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,485,413 株	24年3月期3Q	4,485,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(9か月)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が景気の押し上げになっているものの、欧州を中心とした世界経済の停滞や領土に関する韓国や中国との軋轢が今後経済面に悪影響を与え、景気の悪化は避けられない状況にあります。

学習塾業界におきましては、学習指導要領の改訂から学習塾に対する関心は高まっているものの、各社とも個別指導塾の新設等塾生募集活動の活発化により、塾生の流動化率は高まっております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、引き続き積極的な中途採用の継続や理科実験授業・野外体験授業及び農業体験授業などの新たな教育サービスの提供等、様々な対策に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は35億96百万円(前年同期比81百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益6億61百万円(前年同期比90百万円減)、経常利益6億65百万円(前年同期比1億4百万円減)、四半期純利益3億88百万円(前年同期比53百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は8,125名(前年同期比2.9%減)となりました。この結果、売上高は21億17百万円(前年同期比31百万円減)となり、セグメント利益は、3億32百万円(前年同期比49百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

一方、スポーツ事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は22,157名(前年同期比5.8%減)となり、売上高は12億40百万円(前年同期比43百万円減)、セグメント利益は3億89百万円(前年同期比29百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億93百万円(前年同期比7百万円減)、セグメント損失は29百万円(前年同期はセグメント損失26百万円)となりました。

(その他)

化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室の運営・農業事業を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は53百万円(前年同期比3百万円増)、セグメント損失は30百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は53億81百万円(前連結会計年度末比1億2百万円増)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億5百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億84百万円(前連結会計年度末比43百万円増)となりました。

これは主に、投資その他の資産(関係会社出資金)が39百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は8億30百万円(前連結会計年度末比79百万円減)となりました。

これは主に、未払法人税等が1億87百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は63百万円(前連結会計年度末比13百万円増)となりました。

これは主に、退職給付引当金が15百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は55億72百万円(前連結会計年度末比2億12百万円増)となりました。

これは主に、利益剰余金が2億8百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結売上高及び営業利益等は、予想を若干下回る水準で推移いたしました。

売上面では、主たる事業であります教育事業及びスポーツ事業における平均生徒数が予想値を下回ったことにより月謝収入等が減少したことが主な要因であります。

営業利益面では、指導要領改訂に伴う教材のコストアップや人材採用関係の費用増が引き続きありますが、他のコスト削減の徹底等により、利益確保に努めてまいりる予定であります。

生徒数増加のための積極的な入会活動や売上高増加のための対策を行うとともに、生産性の高い効率的な組織運営によるコスト削減等によって収支の確保に努めることで、通期の連結業績予想は、前回公表数値同額と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる影響額は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,011,070	5,116,256
受取手形及び売掛金	27,009	16,247
商品及び製品	91,134	112,385
原材料及び貯蔵品	12,838	9,177
その他	136,924	127,301
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	5,278,970	5,381,360
固定資産		
有形固定資産	306,999	302,218
無形固定資産	25,496	45,324
投資その他の資産	708,460	737,406
固定資産合計	1,040,956	1,084,949
資産合計	6,319,926	6,466,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,741	32,963
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	229,037	41,088
賞与引当金	83,632	73,213
資産除去債務	1,617	—
その他	312,366	373,262
流動負債合計	910,395	830,527
固定負債		
退職給付引当金	26,704	41,867
資産除去債務	14,172	14,304
その他	9,182	7,214
固定負債合計	50,059	63,386
負債合計	960,454	893,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,166,025	5,374,980
自己株式	△37,086	△37,139
株主資本合計	5,371,339	5,580,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,867	△7,845
その他の包括利益累計額合計	△11,867	△7,845
純資産合計	5,359,472	5,572,396
負債純資産合計	6,319,926	6,466,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,677,835	3,596,090
売上原価	2,085,761	2,095,213
売上総利益	1,592,074	1,500,876
販売費及び一般管理費	840,537	839,575
営業利益	751,536	661,301
営業外収益		
受取利息	5,771	1,249
受取配当金	5,277	2,446
保険解約返戻金	5,840	376
営業権譲渡益	2,348	—
その他	3,458	3,612
営業外収益合計	22,695	7,685
営業外費用		
支払利息	3,034	2,829
その他	417	263
営業外費用合計	3,451	3,093
経常利益	770,780	665,893
特別利益		
退職給付制度改定益	37,369	—
特別利益合計	37,369	—
特別損失		
固定資産除却損	1,995	4,812
特別損失合計	1,995	4,812
税金等調整前四半期純利益	806,154	661,081
法人税等	364,596	272,708
少数株主損益調整前四半期純利益	441,558	388,372
四半期純利益	441,558	388,372

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	441,558	388,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,142	4,022
その他の包括利益合計	△2,142	4,022
四半期包括利益	439,416	392,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,416	392,395
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,148,775	1,284,007	201,207	3,633,991	43,844	3,677,835	—	3,677,835
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	6,221	6,221	△6,221	—
計	2,148,775	1,284,007	201,207	3,633,991	50,066	3,684,057	△6,221	3,677,835
セグメント利 益又は損失 (△)	382,236	418,324	△26,334	774,225	△22,689	751,536	—	751,536

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整後はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,117,494	1,240,090	193,496	3,551,081	45,009	3,596,090	—	3,596,090
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	8,326	8,326	△8,326	—
計	2,117,494	1,240,090	193,496	3,551,081	53,336	3,604,417	△8,326	3,596,090
セグメント利 益又は損失 (△)	332,390	389,177	△29,888	691,679	△30,378	661,301	—	661,301

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。